

令和3年8月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和3年8月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和3年8月24日（火） 9時30分～11時20分
川西庁舎 1階 地域活動室

2 出席

渡辺正範教育長、庭野三省委員、浅田公子委員、廣田公男委員、渡邊奈々子委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（渡辺正彦）、文化スポーツ部長（金澤克夫）、教育総務課長（富井陽介）、学校教育課長（佐藤研一郎）、指導管理主事（細木久成）、生涯学習課長（樋口具範）、文化財課長（石原正敏）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）、情報館長（笠原実）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：渡邊委員、庭野委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

・資料のとおり

② 報告第1号 十日町市いじめ防止基本方針の一部改正について

渡辺教育長

・事務局の説明を求めた。

佐藤学校教育課長

・資料に基づき説明

庭野委員

・意見になるが、自分はいじめをゼロにすることは、不可能だと思っている。数値的なものにとらわれて、いじめの件数だけを見る傾向があると思い、非常に疑問に思っている。数値にこだわるいじめ指導というのはいかがなものか思ってる。

廣田委員

・この基本方針がいつ策定されて、いつ一部改正されたか分からない。基本方針の中に記載してほしい。

佐藤学校教育課長

・記載させていただく。

廣田委員

・「いじめへの対処」で「いじめの疑いを発見したり、通報を受けた場合は、いじめを行ったとされる児童生徒に対して事情を確認した上で適切な指導をする」とあるが、裏付けや証拠を持って確認しないと、かえって事態を重くすることもある。このとおり安易に運用することは気を付けていただきたい。

佐藤学校教育長

- いじめの事案に対しての対応については、本当に難しいところで、ケース・バイ・ケースで対応していくことが多い。ケース会議などを行いながら、先生方一人一人の力量が高まっていくように指導していく。

庭野委員

- 学校のいじめの態様を発見するというのがなかなか難しい。担任がいじめに気づかず、隣のクラスの保護者から学校側に連絡が入って初めて分かったということがあった。子供のいじめは教員に隠れて陰でやっているの、そこにどれだけ鋭く教員が入っているかにかかっている。またそういう会議もあると思うので、話題にしてもらいたい。

浅田委員

- 庭野委員が配布したプリントで、中野信子さんの本を紹介されていて、その中で子供の特性が紹介されていた。いじめを楽しいというような脳内麻薬があるということ、小学生の低学年のうちには共感の気持ちがまだ未発達ということが書かれている。この事実は、お子さんに関わる人たちが全て共有すべきことだと思う。あと、基本方針7ページの法第28条とか法第9条というのは何の法律か。

佐藤学校教育課長

- 基本方針の3ページにあるが、「いじめ防止対策推進法」をこの方針の中で「法」としている。

(以上の質疑のあと了承した)

(3) 議決事項

① 議案第1号 令和3年市議会第3回定例会提出補正予算案の承認について

渡辺教育長

- 事務局の説明を求めた。

各担当課長

- 資料に基づき説明

渡邊委員

- G I G A スクールの補正案で確認だが、小学校費の教育総務管理費の工事請負費で無線アクセスポイントの移設工事とあるのが、上段は追加工事、下段は移設となっており、移設というのはもともとあったものを、別のところに移したということではないか。

富井教育総務課長

- そのとおりである。

渡邊委員

- それと、教育総務費の教育振興費、補正予算内容は医療・教育連携の推進事業の作業療法士に係る費用の補正だが、具体的にどうしているか、教えていただきたい。

佐藤学校教育課長

- ・発達支援の関連で言語の指導などを、たかき医院にお願いしている。専門の作業療法士がたかき医院におらず、外部から作業療法士が来て対応している。作業療法士が常駐していないと保険適用とならず、保険適用外を市から補助金として補填している。

(以上の質疑のあと決定した)

5 その他

① 9月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

② 次回の教育委員会の開催日時

- ・9月定例会 9月28日(火) 14時00分から開催することを決定した。

③ その他

廣田委員

- ・学校における感染症対策だが、デルタ株は10歳代にも感染力が高く、これから新学期が始まるが、今まで以上に気を付けないといけない。どのような対応になるか教えてほしい。

佐藤学校教育課長

- ・国の方からは、小学生も中学生も家庭内の感染が非常に多いと指摘をいただいている。従って、家庭内から学校に持ち込まない対策が必要だと思うが、根本的なところにあるのは子供たちの健やかな学び、そして学びの保障とか心身への影響等を考えて、市域で一斉に臨時休業するとことはしない方針である。仮に子供たちに感染が広がった場合については、ケース・バイ・ケースになるが、学校の閉鎖をしたり、また場合によっては学級の閉鎖をして、通常の学校生活ができることを第一に考えながらやっていきたい。

高校生の場合は、夏休みの部活で増えるというケースが非常に多くなっている。従って、主に中学校の部活は、夏休みが始まる前には市外での活動について一旦許可しているが、また状況によっては市外に出る活動、または校外に出る部活動を一旦止めるような対応も考えている。

なお、小中学生の状況を見ると家庭内感染が多いということ为先ほど話したが、これが70%以上であるという状況を見ると、家庭内感染を持ち込まないということで、家族が発熱したり、症状がよくないという方に関しては、学校を休むということも大事だと考えている。水際の対策になるが、校長会で具体的に指導してまいりたい。

庭野委員

- ・先生方のワクチン接種はどの程度進んでいるか。

佐藤教育課長

- ・夏休みに何とか2回のワクチン接種を受けるということで進めており、現在、2回目の接種を受けた先生がほとんどである。

廣田委員

- 給食のことだが、2年ぐらい前、それまで魚沼産コシヒカリを学校の給食に提供していたが、予算の都合でこしいぶきに変わったと聞いた。食育の観点や、教育大綱にある地元に対する愛着を育てるという面では、やはり魚沼産コシヒカリを給食に出すべきだと思う。
今度また違う米に変えるような話を聞いたが、どのような事情か。

渡辺子育て教育部長

- 廣田委員のお話のとおり、平成30年産米からこしいぶきに変わった。それまではコシヒカリを安く仕入れができたが、それ以降は仕入れが難しくなった。しかし、市の内部で調整をして、当初は月1回のコシヒカリの提供を1年ぐらい続け、現在は月2回提供している。令和3年産米からは週2回のコシヒカリの提供を目指し、現在調整中である。
こしいぶきも十日町産であり、コシヒカリの提供を無くすということは考えていない。

渡邊委員

- 市内の教員の方がコロナに感染したというニュースを見たが、その後どうなったのか。また、そういった情報は事前にメール等で共有してほしい。

佐藤学校教育課長

- その教員の経過だが、順調に回復している聞いている。また、委員への情報共有はマスクコミと同様のタイミングでお知らせさせていただく。

以上で、11時20分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記